

まこと

Volume 62 No.8
AUGUST 2015



7月4日（土）60回目となる天理教ピクニックがカピオラニ公園で開催され、参加者は250名を数えました。

Tenrikyo Mission Headquarters of Hawaii

リレー巻頭言

みなさん、こんにちは！今月も毎年恒例の天理教バザーのためにご尽力下さり、誠にありがとうございます。立教179年1月に勤められる教祖130年祭まで残り5カ月となりました。私たちお互いは、成人させていただくための三年千日の集大成に向けて、年祭の日にはより成人した姿で教祖にお会いさせていただけるよう、全力で日々取り組ませていただいていることと思います。

論達第三号において、真柱様は「よふぼくは、教えを学び身につけ、日々実践して、土地所の成程の人となろう。」と、仰せくださっています。このとても力強い言葉である「成程の人」とは、日常の生活の中で自然と教えが行動に表れ、他の人たちにはっきりと身をもって示せる人のことです。私たちは教えを学び、理解し、実践することで、教えを身につけ、私たちの体、また魂にまで染みこませなければいけません。

教えを私たちの一部、さらには存在そのもの（very being）となれるよう努力しましょう。ですから私たちは人間（human beings）と呼ばれるのです。ただ教えを知り、教えについて考えるだけでなく、吸収し、身につけるのです。そうすることにより、私たちは

本当に周りの人たちに素晴らしいおいをかけることができるのです。これがにをいかけです。

2012年の伝道庁の月次祭講話で、座りづとめの第一節におけるいくつかのお歌とお手の意味合いについて、古代からハワイに伝わる自然治癒法である「ホ・オポノポノ」が、どのようにそれらの意味合いについて学ぶのに役立ったかということについてお話ししました。第一節であしきをはらうてと歌うとき、みなさんは何に意識がいくでしょうか。私もそうですが、他の多くの人たちもそうかと思いますが、あしき、もしくはほこりという言葉に意識がいくのではないのでしょうか。

第一節は合掌の手から始まります。合掌の手はみかぐらうたの中で40回（かみ16回、つとめ7回、しんじん6回、ごらく2回、たのみ2回、ねがい2回、かみな、かみがた、まいりたいがそれぞれ1回、そしてあしきが2回）あります。あしきは唯一のネガティブな意味に感じます。

もし40の合掌の手のうち38が良い言葉に使われているなら、なぜ2つだけネガティブな言葉に使われているのでしょうか。おふでさきの第1号53のお歌に、

一れつにあしきとゆうてないけれど
一寸のほこりがついたゆへなり

とあります。親神様はあしきは小さなほこりがたまっているだけであると、お教えくださっています。小さなほこりとはとても些細な事のように聞こえます。しかし、このちょっとのほこりを払うことは、非常に大切なこととあります。なぜなら、ほこりを払うことが私たちのたすかりの重要な鍵となるからです。神の世界にほこりはありません。ですから、親神様は私たちが積んできたほこりのない世界に焦点を当ててほしいのではないかと、私は思います。ほとんどの合掌の手が良い言葉に使われているなら、この2つのあしきも良い事を指しているとは思いませんか。

私たちが座りづとめを勤めるとき、まず心をきれいにすることを考え、そして世界たす

けの願いをします。二つめにほこりのない神の世界、ごらくを合掌の手によってイメージします。そして三つ目にあしきと歌い、神様にほこりを払っていただくようお願いするのです。ですので、あしきという私たちがネガティブにとらえがちな言葉で第一節は始まりますが、あしきやほこりというよりは、元、親心を思い出すようにという意味が、合掌という力強いお手から始まることに込められているのではないのでしょうか。神の世界に、あしきやほこりはありません。ですから、神様は私たちにこのお手を通して、私たちが積んできたほこりを払う良いイメージを持ち、魂を元のきれいな状態に戻し、ごらく、つまり全人類の陽気ぐらし世界を思うことを私たちに促されているのです。

これはあくまでも私の個人的な解釈とお受け取りください。ありがとうございました。

【齋藤コーリン】

全教一齊にをいがけデー

日時：2015年9月7日（月）午前9時～午前11時

場所：カパフルのパキパーク（戸別訪問）

モイリイリ・オールドスタジアムパーク（清掃ひのきしん）

※今年は2ヶ所に分かれてにをいがけ活動をさせていただきます。

ひのきしんに参加される方は、掃除道具を持参してください。

7 月 月 次 祭 祭 文

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に、ハワイ伝道庁長山中修吾、一同を代表して、慎んで申し上げます。

親神様には、教祖をやしろにこの世の表にお現れ下さり、よろづ委細の元の真実を教えて、陽気ぐらしへと導く道をおつけ下さいました。私共は、日々に親神様の御守護を感じ、ご存命の教祖のお導きを信じて、喜び勇んで暮らさせていただいておりますと共に、思召に添う成人の努力を積み重ねております。その中でも、本日は当伝道庁の7月月次祭の日柄を迎えましたので、只今よりおつとめ奉仕者一同心を合わせ、座りづとめ・てをどりを陽気に勇んでつとめて、世界たすけへの真剣な祈りを捧げさせていただきます。御前には今日を楽しみに寄り集った道の兄弟姉妹が、勇んでみかぐらうたを唱和し祈念する状をもご覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

今月10日よりおぢばで開催中のおやさセミナーには、ハワイより前期生2名、後期生4名が受講しておりますが、カウンセラー共々、一同元気に真剣に、教祖の御教えを学び実践させて頂いております。また本年のこどもおぢばがえりには、大人を含む13名が帰らせて頂きます。将来ハワイの道を担う若者たちが、真夏のおぢばにて尊い伏せ込みの汗を流し、ぢばの理を体感し、「をや」の理をしっかり頂戴させて頂きたいと存じます。

また先月27日と28日にテキサス州で開催された全米ジュニア柔道大会には天理柔道クラブより20名が出場し、日頃の鍛錬の成果を堂々と発揮し、金メダル11、銀メダル3、銅メダル2という素晴らしい結果と共に、天理の名を高揚させて頂きました。

私ども一同は、一れつ人間の陽気ぐらしをお望み下さる親神様のお心に添わせて頂き、教祖の道具衆として神一条たすけ一条喜び一条の道をハワイのこの地でしっかりと歩ませて頂きます。殊に、6ヶ月後に迫った教祖百三十年祭へと向かうこの重要な時旬に、銘々が仕切つての成人への努力を日々積み重ね、常に周囲に心を配り、自分にできるにをい

け・おたすけに励み、ご存命の教祖にお喜び頂けるよう努めさせていただきます。何卒親神様には私共のこの真心をお受け取り下さり、ハワイの道が伸展し、世界中の人々が元の親を知り、一れつ兄弟姉妹の真実に目覚めて、互いにたすけ合い睦み合う陽気ぐらしの世の状へと一日も早く立て替わりますようお願いのほどを、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

祭 典 役 割

祭 主	山中修吾庁長		
扨 者	一瀬常德	柿谷節生	
賛 者	井上タイロン	山本浩徳	
指図方	西村忠正		
講話者	椎葉スパークー (英)		
通訳者	藤原和子	(日)	

	座りづとめ	前半	後半
てをどり (男性)	庁 長 Y. 中尾 C. 三國	C. 齋藤 O. 中尾 T. 井上	T. 岩田 G. 井元 M. 中尾
てをどり (女性)	庁長夫人 M. 柿谷 T. 松川	T. 中尾 S. 柿谷 L. 蘇	L. 長田 M. 井上 R. 井上
笛	T. 美馬	W. 三國	D. 明本
チャンポン	G. 本田	D. 川崎	S. 中尾
拍子木	R. 山	S. 柿谷	G. 井上
太鼓	T. 西村	M. 久尾	K. 川崎
すりがね	M. 社本	E. 高田	J. 蘇
小鼓	M. 稲福	Y. 宮内	B. 美馬
琴	C. 明本	K. 金川	L. 井上
三味線	M. 三國	M. 山下	R. 宮内
胡弓	J. 山	C. 浜田	Y. 川崎
地方	M. 岩田 S. 椎葉	T. 一瀬 W. 城	D. 桧垣 B. 岩田

「守る人」、それが私の一生の仕事

はじめに山中庁長先生、通訳者の藤原和子さん、本日まで参拝の皆様にお礼申し上げます。

私、椎葉芳男スパークーは5人兄弟姉妹の長男として、長崎に生まれました。ヒロで40年間暮らし、カイルアコナに住んで18年になります。弟と3人の妹の世話と彼らを守るのが私の責任でした。晩年、認知症になった両親を家内とともに10年間世話しました。そして、家族を守っています。娘のジェニファー、息子のティモシー、そして、私の大事な家内の七重です。

私は高校教師として5千人の生徒に教え、守りました。看護助手として、夜間の高齢者介護施設で40人の患者さんをお世話し、その命を守りました。また100人以上の在宅の患者さんをお世話しました。私はこれらの仕事を通して誰かを守ることを学びました。今、新たに警備員の仕事を心得、ショッピングセンター、店舗、コンサートやイベント会場など、外回りをしてコミュニティーのビジネスを守っています。

私は教祖がいつも私たち人間をお守りくださっていると感じています。忠告してくれた人、物事を教えてくれた人、私がこれまでの人生で出会った人を通して教祖の存在を感じます。私たち人間はもっと成人しなければな



りません。命は神様から与えていただいているのですが、それを感謝できる人、この世で生かされていることへの感謝を行いで示す人は多くありません。私たちは表立たず目立たずに、誰かを笑顔で褒めたり励ましたりしています。たいてい聞き役になって人の話に耳を傾けます。

八つのほこり、「かしの・かりもの」、おたすけ。人のために祈ります。死を決め、自ら命を絶とうとしている人へのおたすけは容易ではありません。「ほこり」とは神様の思召に沿わない心遣いのこと。おいしい、ほしい、にくい、かわい、うらみ、はらだち、よく、こうまん、うそ、ついでです。「かしの・かりもの」とは人間の身体のことです。心は人間がコントロールできますが、身体を完全にコントロールすることはできません。私たちは知らず知らず日々の行いの中でほこりを積み、心はほこりにまみれ、曇り、やがて陽気ぐらしを見失います。神様は私た

ちがそんな心に気づき、自己中心的な心遣いを改めるのを待っておられます。教祖は心のほこりを払えとおっしゃいました。互いにたすけ合い、人のために思い、人のために祈り、人のために私たちの努力や能力を使うよう促されました。おさづけと祈りにより健康は回復できますが、より重要なのはおさづけにより魂も救済され得ることです。

かしもの・かりものについて、おふでさき第三号のおうたに、

にんけんハみな／＼神のかしものや
なんとをもふてつこっているやら (三-41)

にんけんハみな／＼神のかしものや
神のぢうよふこれをしらんか (三-126)

とあります。また、ほこりについて、

このみちハをしいほしいとかハいと
よくとこふまんこれがほこりや (三-96)

めへ／＼のみのうちよりのかりものを
しらずにいてハなにもわからん (三-137)

第八号のおうたには、

このほこりすきやかそふぢせん事に
月日いかほどをもふたるとて (八-62)

とあります。またおさしづには、

さあ／＼神の方には不足の身体は貸してない。不足というのは、めん／＼の心より。

明治20年11月8日

さらに、

身の内かりもの聞いて、一寸の理聞き分けねば分からぬ。何ぼ信心すると、理が分からねば分からん。 明治21年1月23日

とあります。

これが教祖の教えの中で最も重要な教えであります。私たちに細心の注意を払って身体を使うように望んでおられるのです。つまり、神様がお喜びになりご満足されるように心を使えということです。この神様のご守護に気がつかなければ、信仰をもたない者と変わらないのです。

「よく」

人の物を法律や道徳に反して手に入れること。人を騙して手に入れること。人を犠牲にして利益を得ること。あるが上にもまだ欲しがること。

「こうまん」

自分は人より聡明で賢いと思うこと。人を見下すこと。知ったかぶり。自分の意見を人に押し付けること。人の立場を無視あるいは軽視すること。自分の落ち度は見ずに相手ばかり批判すること。意固地、強情。

「プライド」

なぜ悲劇的なことがお金持ちに多く起こるのでしょいか。それは、プライドが神様を忘れさせるからです。人に才能やスキルを与えるのは神様なのです。プライドが自己を過大に評価させ、自分は称賛に値すると思ひ込ませるのです。高慢なプライドにより自分は騙されるはずはないと思ひ込み、それゆえに信用ならない人を信じてしまったりするのです。自己評価が過剰になり、自分は失敗するはずがないと過信すれば、人生やキャリア、人間関係、結婚や金銭で非常に愚かな決定を下してしまうのです。平均的な普通の人であっても同様の悲劇は起こります。自己中心、高慢、虚栄に支配されるのはお金持ちとは限りません。私たちは誰もが誘惑に負け失敗し得るのです。これを正す最善の方法は、自分の力や人への崇拜や贈り物から自らを開放し、称賛や崇拜を人へではなく元なる神のみに向けることです。そして、私たちが神の子であることを認識し、親なる神の慈悲と寛大さを称え、敬愛することです。

「よく、仕事、信仰」

私たちは利益追求型の社会で生きており、金儲けばかりに囚われています。それでも、正しい精神を持ち続けることはできます。教えに沿って歩み、道に迷わないことが大事です。正しい心を持ち続ける秘訣は職場が金を稼ぐ所と思わず、にをいがけの機会であると思ふことです。それぞれの職場であなたと接

する人々はあなたの教えに沿った行いを通して「天の理」を知ることができるでしょう。職場は彼らがあなたの存在を通して教えを理解する場なのです。

私の友人に、若い頃釣りは好きだが、魚を食べるのは嫌いで釣った魚は全部人にあげたという人がいました。彼は60年間アメリカ陸軍工兵隊で働き、奥さんは3人の子供を育てました。私はこの仲の良いご夫婦を慕いながらお世話しました。彼らの引退後の日々在宅ケアをさせてもらえて幸せでした。お宅にはいつも子供たちが孫を連れて訪ねてきていました。看護助手として彼らの話を聞いて嬉しかったです。世界中の米軍基地とハワイで過ごした年月は楽しい思い出に満ちていたそうです。この無欲と親切のお手本のようなご夫婦は、長年教会でボランティア活動に勤しみ、町の土木プロジェクトにもボランティアで参加しておられました。

ある時、私は骨粗しょう症で腰痛に悩む高齢のご婦人の信者さんから電話をもらいました。電話で処方方の痛み止めを飲むように伝えましたが、心配になり、往復240マイルを運転してヒロまで行きました。一時間ほど回復の願いをして、症状について話し合いました。彼女は若い頃からミルクはよく飲んでいたのでそうです。私は何度もおたすけに通いました。おさづけの後に、はらだちのほこりについて、またプライドについてお話しました。生かされていること、幸せに長生きできたことを神様とご家族に感謝するようにアド

バイスしました。

ある時は、胃がんを患うご婦人のために祈りました。余命半年の方です。当時私はハワイ伝道庁に住み込みの書記補佐としてつとめていたので、出直されるまで彼女のお宅やクウィーンズ病院に通いました。「会長さん、私は何故苦しむのでしょうか」と彼女は問いました。「かしの・かりもの」とほこりの心遣いのことをお話しました。彼女は少しずつでしたが、ご主人の方は教えをよく理解していくのが分かりました。このご主人は友を得て、再婚し、亡くなった奥さんとの思い出を大事に生きておられます。

また、医者から皮膚がんが余命一年と宣告された男性の友人がいました。彼とは病気は神様からのサインであることを話しました。彼は神様が人間の親であることを理解し始めました。私はサーフィンの楽しさをみんなに聞かせてほしいと頼みましたが、友人はガールフレンドや家族に負担をかけたくないと、自ら命を絶ちました。

私は大勢の人を病床でお世話してまいりました。自ら命を絶った人もいますが、多くは安らかに出直しました。家族や友人に看取られた方はわずかです。大半はお年寄りでした。神様を信じない人は実に多いのです。しかし、人の寿命は神様がお決めになることです。私たちは神の子ですが、その神との関係はなかなか理解されないのです。私たちは信仰をもっていますが、魂の救済においては更に成人しなければなりません。私自身も先に

進むためには、もっと謙虚になり人を許せる人間にならなければなりません。

私が出会った20代のサモア人の男性は交通事故で片足が潰れていました。私は毎日神様や奇跡について話しました。医者が彼の足にギブスをはめて半年、奇跡的に回復します。骨が成長して、彼の足は再生できたのです。

神様から頂いた命の意味を理解し、活かすには、家族、友人、コミュニティーの人に感謝することが大切です。この感謝こそが限られた人間の命といかに向き合うかを定めるのです。よくとこうまんは神の立腹となり人生の終わりは悲しく苦しい日々となります。頂いた命を感謝できる人は有意義で陽気ぐらしに満ちた人生を全うできるはずです。

私は、病人を抱え、寄り添い尽くす何百ものご家族に出会い、共に祈りました。苦しむ本人から拒否されるご家族も見てきました。こういう人は人生の悲しい最後を親しい人に見せたくないのです。神様のお働きが見えない人は違った対応をするのです。私達は皆、家族、友人、教友など誰かを守っています。資格があってもなくても、立場が何であっても、寄り添ってこの人たちを守らなければなりません。目立たない裏方の仕事ではありますが、私は一生の仕事として「守る人」でありたいと思います。ご清聴ありがとうございました。





45th Annual

TENRIKYO BAZAAR

SUNDAY, AUGUST 30, 2015

8:30 AM ~ 2:30 PM

場所: 天理文化センター

住所: 2236 Nuuanu Ave. Honolulu, HI

(ヌアヌ・メモリアルパークの向かいです)

※カワナナコア・スクール (Funchal St.) にも
駐車スペースを設けています。バザー会場へは
シャトルバスをご利用いただけます。

バザードネーション受付について

日時: 8/16 (日)~26(水) 午前 10 時 ~ 午後 4 時

場所: 天理文化センター

※家具、電化製品などはお引き取りできません

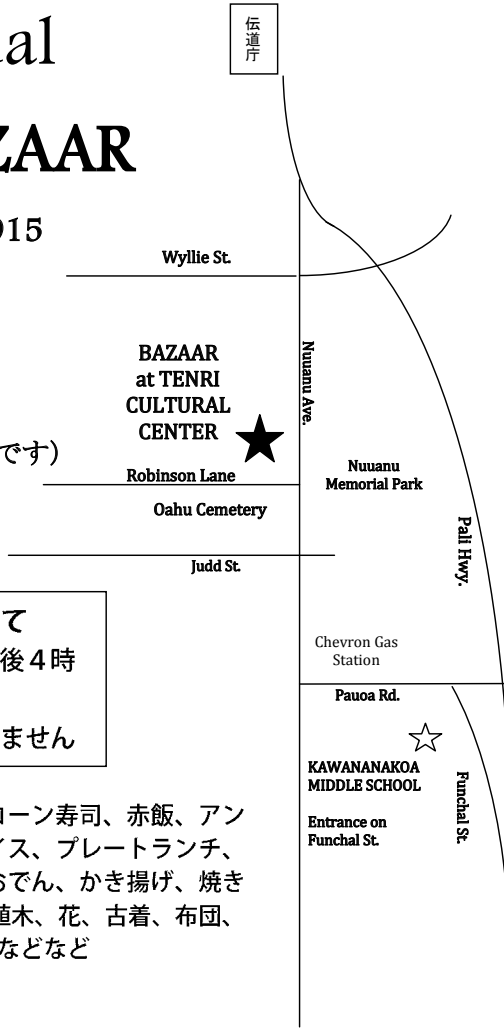
バーベキュー・ハーフチキン、巻き寿司、コーン寿司、赤飯、アン
ダギ、おはぎ、ホットドッグ、シェイプアイス、プレートランチ、
キムチ、たくわん、三杯漬け、クッキー、おでん、かき揚げ、焼き
そば、たこ焼き、サイミン、野菜、果物、植木、花、古着、布団、
クッション、小物、カバン、餅つき、お餅、などなど

スクリップ、チキンチケットは、ハワイ伝道庁、またはお近くの
天理教教会でお求めください (バザー会場では当日のみ販売)



[facebook.com/TenrikyoBazaar](https://www.facebook.com/TenrikyoBazaar)

Further information:
TENRIKYO MISSION HEADQUARTERS OF HAWAII
2920 PALI HIGHWAY, HONOLULU, HI 96817
TEL: 808-595-6523



婦人会だより

8月30日毎年恒例のバザーが開催されます。16日からはドネーションをお受けしております。必要が無い物でもなかなか手放すことが出来ない物ってありますよね！今がチャンスです。今まで使わせて頂いた感謝の心をそえてTCCまでお届けください。今度は誰かの宝物になるかも！

■婦人会ヌアヌハレ慰問

8月8日（土） 9：30

■婦人会例会

8月17日（月） 9：00

※会議後バザーひのきしんを行います。

■バザーひのきしん 9：00 於：TCC

- ・漬物作り 8月18日（火）
- ・漬物パッキング 8月19日（水）
- ・こんにゃく作り 8月20日（木）
- ・TCC大掃除 8月22日（土）
- ・おでん仕込み 8月27日～29日
- ・天ぷら仕込み 8月27日～29日

※ウエストハウスでのバザーひのきしんに参加頂いた皆様ありがとうございました。

※8月の鳴物練習はありません。

※今月の月次祭直会当番は、周東グループです。よろしくお願ひします。

少年会だより

■夏のこどもおちばがえり

今年はハワイから9名が参加し、その内3名がひのきしん隊に参加し、少年会員の参加は2名でした。来年は沢山の子供たちを誘って参加させていただきましょう。

■天理教バザー

8月30日に開催されるバザーでは、多くの少年会員、またその家族も一緒にひのきしんに参加していただけたらと思います。当日は、子供たちが、駐車場付近や火の周り、混雑している場所などで危険な行動を取ることがないように見守っていただくことをお願ひします。安全を守って素晴らしいバザーにしましょう。

青年会だより

青年会員の皆様アロハ！日々は青年会活動の上に変わらぬサポートを頂きありがとうございます。今月末に行われる天理教バザーでも皆様の大きなサポートを頂けるようお願いいたします。青年会はバザー当日までの準備ひのきしん、そして当日の駐車場整理とシャトルバン運用のひのきしんをさせていただきます。

■月例会議

8月12日（水） 19：30

■教祖傳勉強会

8月28日（金） 19：00

伝道庁 8月月次祭

8月16日(日)午前9時

講話者：井上メイ・ハワイ海布教所長

※教会長・布教所長会議はありません。

女子青年だより

バザー警報を発令中です！8月30日に上陸予定です。女子青年の皆様は、そろそろ焼き菓子の準備を進めていただくようお願いいたします。

焼き菓子の袋詰め、また値段のラベル貼りは、バザー前日の8月29日（土）に伝道庁で午前10時から行います。それまでにドネーションを持ってきてください。前もって何を作るのか決まっている方、ドネーションをパッキングの日の朝か、後日持ってくる方は井上ミシェルまでお知らせください。Michelle.inouye@yahoo.com - 808-469-5347

女子青年の皆様、どうぞ積極的にお手伝いいただき、焼き菓子ブースを盛り上げていきましょう。

8月行事予定

- 2日（日）・庁長帰任
- 3日（月）・月例にをいがけデー
- 4日（火）・天理文化センター月次祭
- 5日（水）・月例コミュニティーひのきしん
- 6日（木）・バザーブースヘッド会議
- 7日（金）・Adopt A Hwy清掃ひのきしん
- 8日（土）・婦人会ヌアヌハレ慰問
- 10日（月）・婦人会委員会
・TCC&文庫ジョイント委員会
- 12日（水）・青年会会議
- 13日（木）・少年会会議
- 15日（土）・学生会ひのきしん
- 16日（日）・伝道庁月次祭
・サンデースクール
・アロハバンド練習
- 17日（月）・婦人会例会
- 26日（水）・遥拝式／おてふり鳴物練習
- 28日（金）・青年会教祖傳勉強会
- 29日（土）・バザーお願いづとめ
- 30日（日）・天理教バザー

教人資格講習会英語クラス

8月27日～9月10日

教会長資格検定講習会英語クラス

9月27日～10月19日

願書は各直属で準備し、北米・オセアニア課経由後、教人資格講習会の願書は8月23日～24日に、教会長資格検定講習会の願書は9月23日～24日に、それぞれ講習課へ提出してください。

TENRIKYO HAWAII DENDOCHO

2920 Pali Highway Honolulu, HI 96817

Phone : (808)595-6523 Fax : (808)595-7748

E-mail : dendocho@tenrikyo-hawaii.com

感謝、慎み、たすけあい

陽気ぐらしのキーワード